

園長あいさつ

就任のごあいさつ

園長 本間 弘生

このたび、大森山動物園の園長を拝命いたしました、本間弘生と申します。

長年にわたり当園を支えてくださった小松守名誉園長にあらためて感謝申し上げるとともに、温かく迎えてくださった関係者の皆さまに、心よりお礼を申し上げます。

さて、大森山動物園は、千秋公園にあった児童動物園の時代を含めると70年を超える歴史を持ち、秋田市民のみならず、秋田県内、隣県の皆さまにまで広く親しまれている、貴重な地域資源のひとつです。多くの来園者の皆さまの笑顔と、動物たちのいきいきとした姿が共にあるこの場所で、園長という重責を担うことをたいへん光栄に思っております。

一方で、近年の動物園運営・経営を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少の進展などもあり、たいへん厳しいものがありますが、これまで取り組んできた命の尊さや環境の大切さなどを伝える場としての役割はもとより、娯楽・レクリエーション施設としての機能も果たしながら、教育、種の保存、研究、動物福祉といった現代の動物園に求められる多面的な使命も



果たすべく、職員や関係企業、ご支援いただいている皆さまと力を合わせ、持続可能な動物園づくりに取り組んでまいります。

これからも、大森山動物園が、子どもたちにとっては「命(動物)との出会いの場」として、大人にとっては「癒しと学びの場」であり続けられるよう、より開かれた、地域に根ざした動物園を目指してまいりますと考えております。

今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

こんにちは! あかちゃん

ゼニタナゴ

2025年初夏に16尾の稚魚が二枚貝から浮出しました。2年連続で10尾以上が生まれています。ゼニタナゴは、秋に二枚貝の中に卵を産み付け、仔魚で冬を越す変わった習性があります。二枚貝の安定した飼育や、貝への産卵率を上げるなどの課題はありますが、飼育下での繁殖が軌道に乗りつつあります。



2025年1月以降に大森山動物園で生まれた赤ちゃんをご紹介します。

ニホンリス

2025年5月11日に出産を確認しました。お母さんの由利子は初めての出産で、4頭の子どもが生まれました。

6ページの飼育レポートも併せてご覧ください。



このほか、ワオキツネザル、プレーリードッグ、モルモット、ヨーロッパフラミンゴにも赤ちゃんが生まれています。みんな、元気に育ってね。

飼育動物数(6月末時点)

哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	無脊椎動物	合計
46種 315点	24種 121点	13種 24点	3種 8点	3種 27点	1種 23点	90種 518点

よろしくね!

仲間入りした動物たち

レイファ レッサーパンダ 令花♀

2025年4月14日に福井県にある鯖江市西山動物園から、ひなたのお嫁さんとしてやってきました。くりくりの目と短めの足がチャームポイントです。今後は2026年の繁殖シーズンに向けて準備を進めていきます。ひなたとの間で2世の誕生に期待がかかります。



スバルバルライチョウ あっ君♂ コッシー♂

2025年4月23日に東京の上野動物園から新幹線に乗って2羽のオスがやって来ました。高温に弱いため、近縁の絶滅危惧種であるニホンライチョウを参考にした温度管理で、慎重に輸送しました。到着後は良好な採食が確認され、ホッとしました。



このほか、シバシコウのオスとメス1羽ずつが5月28日に札幌市円山動物園から、メスのニジギジが5月30日に姫路市立動物園から、チリーフラミンゴのオスとメス1羽ずつが日立市かみね動物園からそれぞれやって来ました。また、北海道の施設から、当園では初めての展示となるカーペットニシキヘビが6月23日に来園しました。

元気でね!

大森山動物園を後にした動物たち

カナダヤマアラシ サシコ♀

2025年3月4日に生まれ故郷である浜松市動物園へ旅立ちました。浜松市動物園に新しいオスが導入されたことから、繁殖のために里帰りしたものです。繁殖がうまくいくことを願っています。



ノドジロオマキザル ^{そう} 颯♂

2025年6月24日に北海道の施設へ移動しました。やんちゃな個体で、当園の群れの中で孤立してしまったため、動物病院で生活していました。新しい環境でも元気ですね。

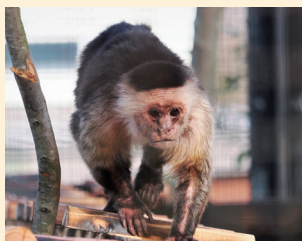


訃報 忘れないよ…



ノドジロオマキザル チャールズ♂

2025年2月13日に亡くなりました。イギリス生まれのチャールズは、1993年に来園し、ナナエ(メス)との間に10頭以上の子どもをもうけたビッグダディでした。愛妻のナナエに先立たれましたが、晩年はかわいいおじいちゃん、穏やかに暮らしていました。



ボアコンストリクター シア♂

2025年4月18日に亡くなりました。2010年に札幌市円山動物園から来園しました。当園のヘビが在来種だけだった当時は、貴重な海外の種類の個体でした。新しいサル舎に引っ越してからは、よくプールに浸かっているところが見られました。



トナカイ ルミ♀

2025年5月25日に亡くなりました。ルミは2020年に那須どうぶつ王国から来園しました。ふれあいフェスティバルの動物パレードや雪の動物園のおさんぽタイムなどのイベントでも活躍したトナカイです。妊娠が分かり、出産を期待していましたが、難産の末、母子ともに亡くなりました。とても残念です。



アビシニアコロブス ^{がっこ} 雅香♂、^{いぶり} 燦♂

2025年6月1日に雅香、翌2日に燦が亡くなりました。雅香は2019年、燦は2021年に、サル舎の新築工事に伴う仮住まいの動物病院で生まれた兄弟です。とても仲がよく、新しくできたサル舎では外の展示場でダイナミックに動き回る姿が印象的でした。



雅香(左)、燦(右)

このほか、ニホンザル、インドクジャク、シバヤギ、コモンマーモセット、プレーリードッグ、ワオキツネザル、ニホンリス、ファンボルトペンギン、モルモット、アカカンガルー、ブロンズトキが亡くなりました。